

平成31年度「学ぶ力」育成プログラム

学校番号：32010
学校名：篠路西中学校

改訂のポイント		<ul style="list-style-type: none"> ○学ぶ意欲の向上を図るための授業作りと意欲の喚起 ○学習の習慣づけと、基礎的・基本的な知識や技能を身に付けさせるための学習環境作り 		
項目名	項目内容	項目内容の具体		
目標	「学ぶ力」の育成に係る目指す生徒像	<ul style="list-style-type: none"> ☆ねばり強く進んで学び、創造的知性と豊かな情操を身に付ける工夫ができる生徒 ☆主体的な学び、学びの共有、高め合いのできる生徒 		
「学ぶ力」に関する成果や課題	学ぶ意欲	【昨年度の具体的な取組】 <ul style="list-style-type: none"> ・学習記録表（ログブック）を活用した、生徒個々の家庭学習状況の実態把握とその指導。 ・それぞれの教科への興味・関心を高めることのできるユニバーサルデザインを意識した授業作り。 	【成果】 ⇒「学校で好きな授業がある」生徒は84.4%と昨年度より微増している。しかし「今の自分にとってどのように勉強するのがよいか分かっている」に否定的回答が34.1%と多い。	【課題】 ◇学習に取り組もうとする意欲は育ちつつあるが、その具体策を自ら追い求めるための指導にまだ課題が残る。
	思考力・判断力・表現力等	【昨年度の具体的な取組】 <ul style="list-style-type: none"> ・体験的な活動や言語活動、問題解決的な学習活動などを積極的に取り入れ、授業の工夫改善を常に心掛けた。 	【成果】 ⇒「習ったことを使って、自分で考えることが大切だと思う」生徒が93.7%と前年比9%の大幅増。一方で「自分の意見を進んで発言している」生徒は38.9%と少ない。	【課題】 ◇主体的で対話的な授業の構築に課題が残る。
	基礎的・基本的な知識及び技能	【昨年度の具体的な取組】 <ul style="list-style-type: none"> ・学習内容の定着を図るために、小グループでの「学びあい」を意識した授業作りに取り組んだ。 ・学習計画・記録を習慣化する取組を行った。 	【成果】 ⇒「普段から、計画を立てて勉強している」生徒は40.4%と横ばい。諸検査の結果にも基礎的・基本的な知識の不十分さが見られる。	【課題】 ◇学習計画や記録が形骸化している恐れがあり、具体的な学習計画づくり、個に応じた学習指導が必要である。
今年度の具体的な改善策（取組）	取組の最重点	【取組の共有】 進んで学び、集中してねばり強くやり抜くことのできる子どもを育てる。 そのための教員の授業改善・工夫を推進する。		
	具体的な改善策（取組）	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒の表現力を意識した言語活動・体験的な活動・課題解決的な学習活動を取り入れた授業の推進 ○どの生徒も積極的に参加できる授業展開の工夫 ○学習記録表（ログブック）・長期休業計画などによる、学習計画・記録の習慣化が効果を生み出すための工夫 ○校内研修の充実と、改善の重点や学習指導要領改訂の趣旨を踏まえた各教科カリキュラムの立案と改善 ○TT指導・少人数指導やALT・外部講師などの有効活用 ○年間を通した「朝読書」の設定と、その定着による落ち着いた学習環境作り 		
検証の方法	各種調査や子ども自己評価指標の活用	<ul style="list-style-type: none"> ○各教科の評価規準に基づく、学習状況評価結果の活用（日常のテストやノート、授業観察など） ○全国学力・学習状況調査や、標準学力検査の結果等を活用 ○札幌市全体の共通指標（子どもの自己評価）の活用 ○Q-U調査の結果の活用 		